

## 「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト（行政提案型）の公募について

イノベーション推進チーム  
道路整備課

### 1 要旨

社会資本の老朽化の進行や維持管理・更新費の増加が懸念される中、AI、IoT等のデジタル技術を活用した、効率的・効果的な維持管理が求められているところである。

こうした中、最新のデジタルテクノロジーを活用して様々な課題解決を図るオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」のうち、昨年度より「行政提案型の実証プロジェクト」を実施している。

このたび、道路附属物（道路照明）の自己点検システムの構築について、実証プロジェクト（行政提案型）による公募型プロポーザルを実施することとしたので報告する。

### 2 公募の概要

#### (1) 提示公募テーマ

| テーマ                 | 概要  |
|---------------------|---|
| 道路附属物（道路照明）自己点検システム | 道路照明の支柱や灯具等について、センサー技術等を活用して異常を検知するなど、効率的かつ安価な点検が可能となる点検技術の構築 |

※委託件数は2件を予定。1件あたりの委託額は5,000千円を上限。

#### (2) 公募対象者

県が提示するテーマに対し、AI、IoT等のデジタル技術を活用した技術の構築を提案する者。

#### (3) 審査方法

総務局、商工労働局、土木建築局の委員からなる選定委員会において、第1次審査（書類審査）、第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）を実施する。

### 3 スケジュール

|              |                    |
|--------------|--------------------|
| 令和2年11月下旬    | 公募開始（県のホームページ等で公告） |
| 令和2年12月下旬    | 企画提案締め切り           |
|              | 審査・採択候補先の選定        |
| 令和3年2月中旬     | 選定結果の通知・公表         |
| 契約日～令和3年12月末 | 実証プロジェクトの実施        |

### 4 その他

ひろしまサンドボックス推進協議会会員を含む県内の企業や大学、首都圏のスタートアップ企業等についても、オンラインイベントの実施により、公募プロポーザルの実施について広く情報発信する。